

統計ふくしま

No.217

2008後期号

(平成21年3月)

発行 福島県統計協会

福島市杉妻町2番16号

(福島県統計分析課内)

電話024-521-7143

はじめに

福島県統計協会の事業につきましては、平素より御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

「統計ふくしま」は、「統計思想の普及発展に寄与する」ことを趣旨とする福島県統計協会の設立目的に御賛同いただいている会員の皆様の機関紙として、当協会の事業実施状況等をお知らせすることを目的に発行しております。平成20年度も終盤を迎え、これまで実施して参りました福島県統計功労者等表彰式、福島県統計グラフコンクール及び統計セミナー等の普及啓発事業の主な概要についてお知らせいたします。

平成20年度福島県統計功労者等表彰式の実施



去る平成20年11月7日(木)、福島県・福島県教育委員会及び福島県統計協会の主催により、統計関係者約130名の出席のもと、平成20年度福島県統計功労者等表彰式を開催いたしました。

はじめに、松本友作福島県副知事から、「永年にわたり統計の発展と統計思想の普及啓発に尽力された御功績により栄えある表彰を受けられます皆様、そして統計グラフコンクールにおいて入選の荣誉に輝かれた皆様、誠にありがとうございます。県といたしましては、円滑に統計調査が実施できますよう県民の皆様の理解と協力が得られる環境づくりに努めるとともに、社会の情報基盤として利用しやすい統計の提供になお一層努力してまいります。」とのあいさつがありました。

続いて、国や県が行った統計調査に永年にわたり従事し、顕著な功績をあげられた方々に対する統計功労者表彰、また、第58回福島県統計グラフコンクール入選者に対する表彰が行われました。

表彰後、来賓の方々を代表して、渡部譲福島県議会副議長、並びに阿部嘉明福島県統計調査員協議会連合会長から、ご祝辞をいただきました。

その後、全受賞者を代表して福島市の丹野一典さんから謝辞があり、表彰式は厳かな雰囲気のうち終了しました。

第58回福島県統計グラフコンクールの実施

福島県統計グラフコンクールは、統計知識の普及向上と統計の表現技術の向上を図ることを目的として、昭和25年から実施しており、今年度で58回目を迎えました。

当コンクールの実施に当たっては、統計の表現技術の向上と統計グラフの活用を促進し、併せて福島県統計グラフコンクールの質の向上を図ることを目的に、児童生徒の指導にあたる教職員の方を対象にした「平成20年度福島県統計グラフ作成指導者講習会」を、平成20年7月14日(月)に福島県農業総合センターにおいて実施いたしました。

また、今年度の新規事業として、小学生を対象とした統計グラフの作り方についての出前講座を、いわき市立大野第二小学校、矢吹町立矢吹小学校、福島市立中野小学校、北塩原村立裏磐梯小学校の4校において実施いたしました。

【総務大臣特別表彰】

知ってる？おじいさん、
おばあさんのことそして願い



矢吹町立善郷小学校
5年 清野 優花
[第3部 知事賞]

これらの結果、今年度は、前年度254点に対し、287点の応募がありました。

応募作品については、平成20年9月10日(水)に開催された審査会において、福島県知事賞6点、福島県教育委員会教育長賞6点、福島県統計協会名誉会長賞14点、佳作18点、努力賞12点が選ばれました。

さらに、第58回福島県統計グラフコンクールで、特に優秀であった22点の作品を第56回統計グラフ全国コンクールに出品した結果、第3部で矢吹町立善郷小学校5年清野優花さんの作品が特選(総務大臣特別賞)を受賞しました。

また、他に、第3部で福島附属小学校6年川内悠豊さん、第5部で伊達市の岡崎孝雄さん、パソコン統計グラフの部で福島市西信中学校3年阪本直道さんの作品が佳作を受賞しました。

特選を受賞した清野優花さんは、平成20年11月13日(木)に開催された、「第59回全国統計大会」の席上で表彰されました。

【全国佳作】

激論！地球温暖化



福島大学附属小学校
6年 川内 悠豊

[第3部 統計協会名誉会長賞]

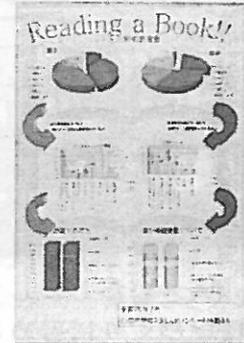
高齢化社会を迎えて老後生活の備えは？



伊達市
一般 岡崎 孝雄

[第5部 統計協会名誉会長賞]

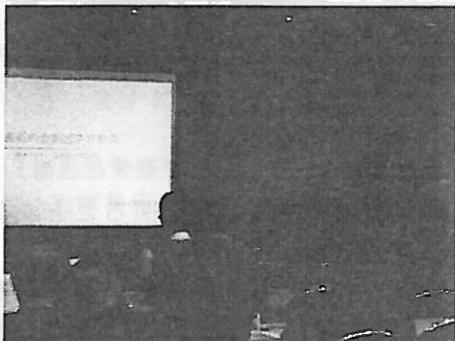
Reading a Book!!



福島市立西信中学校
3年 阪本 直道

[パソコン統計グラフの部知事賞]

平成20年度統計セミナーの実施



県内の団体・企業等の皆様に、統計をより身近に感じ理解していただくことを目的に、昨年度に引き続き統計セミナーを開催いたしました。

今年度は平成21年1月から2月にかけて「県の経済動向」などをテーマとして県内3方部で開催し、賛助会員となっていていただいている事業所の皆様や市町村職員、統計調査員など70名の方に御参加いただきました。

福島会場においては、日本銀行福島支店の総務課長である小林 茂氏を講師に招き、最近の金融経済の動向について、いわき・会津若松両会場では、県の統計担当職員が講師となり、県の経済の動向等を講演しました。各会場での実施状況については、以下のとおりです。

【福島会場】平成21年1月23日(金) 13:30~15:20 福島テルサ

演題：「最近の金融経済の動向」

【内容】

「最近の金融経済の動向」と題し、様々な統計データを使用して全国との比較も踏まえながら最近の県内における金融経済の動向についての講演が行われました。

はじめに、講師の方から日本銀行の役割などの説明の後、福島県は第2次産業のウェイトが

高く、製造業の出荷額は、東北で第1位であることなど福島県の産業構造の特徴についての解説がありました。

次に、金融経済動向として金融危機の経過や、日本の現状についての解説があり、福島県の景気も同様に悪化していることなども統計データを通して説明がありました。

最後に、今後の見通しとして、「わが国の景気は大幅に悪化しており、当面、悪化を続ける可能性が高い」という情勢判断が示されました。

【参加者の声】

今回の講演は、現在の経済状況とも合致していることから、参加された方々からは好評でした。また、「日本銀行の政策について、どのような効果が見込まれるか」といった御意見もありました。

【いわき会場】平成21年1月27日(火) 13:30~15:30 いわき・ら・ら・ミュウ

演題： 「統計データの活用」、「産業構造から見た1人当たり県民所得」

【内容】

前半の「統計データの活用」では、様々な統計データを使用して、全国における福島県の順位を紹介や、福島県全体や県内3地域の特徴について、人口、農業、工業、商業の4分野を取り上げ、それぞれわかりやすく説明がありました。

後半の「産業構造から見た1人当たり県民所得」では、福島県の産業構造の特徴、特に製造業にふれ、製造業の規模について、東北地方での比較や、隣県（茨城、栃木、群馬等）との比較、東北6県と他県との比較などの説明がありました。

また、1人当たり県民所得の結果が上位の県は、「県内総生産のうち製造業の構成比が大きい」、「県内就業率が高い」といった特徴があることを、労働生産性・県内就業率・県民分配率の3要素の面からの説明がありました。

【参加者の声】

参加された方々の反応は様々で、内容については、「各地域の比較が興味深かった」、「要点がまとまっていてわかりやすかった」などという御意見がありましたが、いくつか厳しい御意見もいただきました。

【会津若松会場】平成21年2月5日(木) 13:30~15:30

福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター

演題： 「統計の活用」、「最近の県経済動向」

【内容】

前半の「統計の活用」では、人口推計をテーマに日本の将来推計人口や福島県、会津方部の将来推計人口についての説明がありました。

まず、世界の人口が増加傾向ある中で日本の人口は、出生数の減少や死亡者数の増加により将来的に減少傾向にあること、また、福島県における人口推計についても、出生数の減少と転出者数の増加といった要因から将来的に人口が減少していくとの説明がありました。

後半の「最近の県経済動向」では、はじめに、県が毎月公表している「最近の県経済動向」は、速報性のある統計データを前年比、前月比で検証し、他の補足的な資料を加え、総合的に判断しているものであるとの説明がありました。

次に、毎月判断の際に使用している統計データの解説と前月や前年との比較を交えながら、それぞれの判断にいたった経緯の説明があり、最後に平成21年1月公表分における福島県の経済概況の総合判断についての説明がありました。

【参加者の声】

参加された方々の反応は良く、「難しいけど面白かった」という御意見をいただきました。また「日本人の減少だけではなく、外国人の転入の見通しや、人口増加についての促進策などについても検討してほしい。」という意見がありました。

福島県民手帳ご愛顧キャンペーン抽選会の実施

平成21年2月9日(月)に福島県民手帳ご愛顧キャンペーンの抽選会を実施しました。

このキャンペーンは、福島県民手帳の販売促進を目的に今年度から実施したもので、Aコース(20年産会津コシヒカリエコ米5kg)、Bコース(麓山高原豚ロース750g)それぞれ15名様のプレゼントに対し、応募総数が2,571名と多数の御応募をい



ただきました。

応募数が、当初の予想を上回る大盛況となったため、Aコース、Bコースとも、当選者を倍の各30名として抽選を実施しました。

また、両コースで当選とならなかった方から再抽選を行い、170名に「白河だるまキーホルダー」をお送りしました。

賛助会員募集活動の実施

当統計協会では、今年度6月から県内の主な事業所などへの手紙や訪問等により、賛助会員の募集活動を実施しており、今年度、新規に会員になられた事業所を御紹介させていただきます。

新会員の御紹介（平成21年3月1日現在）

株式会社福島銀行	福島市	株式会社J Aライフクリエイイト福島	郡山市
株式会社日和田ショッピングモール	郡山市	株式会社ヨシダコーポレーション	郡山市
株式会社フミン	福島市	進和ビジネス株式会社	福島市
株式会社東日本計算センター	いわき市		

賛助会員募集のお願い！

福島県統計協会では、賛助会員（本会の趣旨に賛同して入会していただく法人・団体・個人等）を募集しております。各市町村の皆様や賛助会員の皆様からの事業所の御紹介をお待ちしております。

刊行物の御案内

☆ 4月発売予定

○ 一目でわかる福島県の指標2009（A5版、約170頁）

本書は、人口・経済・福祉・教育などの多方面から収集した様々な統計データをもとに、毎年、福島県や県内市町村の特徴を紹介しています。

この冊子は、都道府県編と市町村編に分けて構成されており、都道府県編では、100の指標により全国における本県の位置を分かりやすく示し、市町村編では、49の指標により県内における地域ごとの実態がうかがえます。

○ 第123回福島県統計年鑑（A4版、約460頁、CD-R付き）

明治12年創刊の歴史を持つ総合統計書で、福島県の沿革、自然、人口、産業、経済、教育、福祉など各分野にわたる基本的な統計データを体系的に収録しております。

統計刊行物取扱店の御案内

統計協会が発行している統計刊行物は、次の各店で取り扱っておりますので、皆様に御紹介いただきますとともに、より多くの御利用をお願いいたします。なお、取扱店によっては在庫がない場合もございますので、事前に下記問い合わせ先までお問い合わせください。

【福島県勢要覧、一目でわかる福島県の指標、福島県統計年鑑 取扱箇所】

岩瀬書店（福島市、会津若松市、郡山市）、西沢書店（福島市）、ヤマニ書房（いわき市）、鹿島ブックセンター（いわき市）、全国官報販売協同組合（仙台市）

【福島県勢要覧 取扱箇所】

福島県各地方合同庁舎県庁消費組合売店、県立病院消費組合売店（会津総合、喜多方、南会津、大野、県立医大はクリーニング取扱所）、自治会館消費組合売店、各市町村統計担当課（福島市及び南相馬市は庁内売店）、福島県学校生活協同組合（福島市）、福島大学生協同組合（福島市）、福島県観光物産館（福島市）、博向堂書店（福島市）、みどり書房（郡山市、白河市、二本松市）、宮脇書店（PLANT5大玉店・PLANT4大熊店）、佐周書店（福島市）、西沢書店（会津アピオ店）、高島書房（郡山市）

〈問い合わせ先〉

福島県統計協会（福島県統計分析課内）
〒960-8670 福島市杉妻町2番16号
電話024-521-7143 Fax024-521-7914